

ごあいさつ

組合員並びに地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より当JAの事業運営に対しまして、特段なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和元年暮れより中国から始まった新型コロナウイルスの世界的な流行は、現在、東京オリンピックの延期など我が国の経済や食糧安全保障に至るまで大きな脅威をもたらし、感染防止に向けた様々な対策が行われる中、一日も早い終息が望まれております。

こうした中、地域農業を取り巻く情勢は、農業者の高齢化・担い手不足・人口の減少等、厳しさを増しており、JAの組織基盤や経営基盤も好転が見込みにくくなっております。JAグループはその打開策として、第41回JA群馬県大会で「組合員と地域とともに、協同の力で農業と地域の未来を拓く」をスローガンに、持続可能な農業の実現、豊かで暮らしやすい地域社会の実現、協同組合としての役割の発揮を決議しました。

JA甘楽富岡は、この決議を踏まえ「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」へのさらなる挑戦を目指す「第9次中期3ヵ年経営計画（令和元年度～3年度）」を策定し、その着実な実践を通じて事業展開を行っています。令和元年度はマイナス金利の影響による厳しい経営環境の中、役職員一丸となって信用・共済・営農・経済の総合事業を推し進め、計画比は未達ながら、8千2百万円余の当期剰余金を計上し、自己資本比率11.13%で終了することができました。これもひとえに組合員をはじめ地域の皆様の当JAに対するご理解ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

また、昨春、実施させていただいたJAの自己改革に関する「組合員アンケート」では、9割を超える方々から、JAの必要性、総合事業の継続、準組合員の利用制限反対などに理解を示すご回答をいただき大変心強く感じております。今後もこの期待に応えるため、あらゆる努力を続けるとともに、農業者と総合JAの未来に向け、西部地区5JAの合併についても研究を進めてまいります。

JA甘楽富岡が今後とも、「食」「農」「協同組合」に関する積極的な事業活動を展開できますよう、改めてご支援ご協力をお願い申し上げます。